

# 進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	9 管理運営等
中項目	
小項目	9.0.1 管理運営の独立性
要素	①会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい独立の運営の仕組みを有していること。 ②会計大学院の教育課程、教育方法、成績評価、修了認定、入学者選抜に関する重要事項については、会計大学院の教育に関する重要事項を審議する会議における審議が尊重されていること。 ③教員の人事に関する重要事項については、会計大学院の教員の人事に関する会議における審議が尊重されていること。 ④会計大学院における教育活動等を適切に実施するためにふさわしい十分な財政的基礎を有していること。
小項目	9.0.2 自己点検及び評価
要素	①会計大学院の教育水準の維持向上を図り、当該会計大学院の目的及び社会的使命を達成するため、当該会計大学院における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表していること。 ②自己点検及び評価を行うに当たっては、その趣旨に則し適切な項目を設定するとともに、適当な実施体制が整えられていること。 ③自己点検及び評価の結果を当該会計大学院の教育活動等の改善に活用するために、適当な体制が整えられていること。 ④自己点検及び評価の結果について、当該会計大学院を置く大学の職員以外の者による検証を行うよう努めていること。
小項目	9.0.3 情報の公表
要素	①会計大学院における教育活動等の状況について、印刷物の刊行及びWEBサイトへの掲載等、広く社会に周知を図ることができる方法によって、積極的に情報が提供されていること。 ②会計大学院の教育活動等に関する重要事項を記載した文書を、毎年度、公表していること。
小項目	9.0.4 情報の保管
要素	評価の基礎となる情報について、適宜、調査及び収集を行い、適切な方法で保管されていること。

## II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。

進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 財政的基礎を確保するために、入学定員充足率1.0を維持する。	→定員充足率	C	B	/	/	/
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし	/	/	/	/	/
なし	→なし	/	/	/	/	/

### 《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目9.0.1	9.0.1 管理運営の独立性 (現状説明) 会計専門職専攻である本会計大学院の運営を円滑に行うために、会計専門職専攻に属する専任教員によって構成される専攻会議が設置されている。専攻コンビーナーは専攻会議委員の互選で選出されている。専攻会議は、カリキュラム、人事、その他について協議し、議事により研究科教授会もしくはカリキュラム委員会に提案する。
小項目9.0.2	9.0.2 自己点検及び評価 (現状説明) 自己点検及び評価の円滑な実施を目的に①自己評価委員会及び②FD委員会を設けている。①は授業評価アンケートに関する分析と学生グループインタビューを実施し、結果を「授業評価アンケート報告書」としてまとめている。②は教員相互授業参観の後に意見交換会を実施するなどの授業改善に向けた取組みを推進している。会計専門職専攻は2008年度に会計大学院評価機構から適合の認証評価を得たが、学内評価委員会の評価結果も教育活動に反映するべく専攻会議の協議事項にしている。
☆ 小項目9.0.3	9.0.3 情報の公表 (現状説明) 教育活動等の状況について、様々な出版物やメディアを通じて情報提供を行っている。WEB サイトで各種の情報を提供していることはもとより、それ以外に、学術雑誌(『ビジネス&アカウンティングレビュー』)、関西学院大学研究叢書、大学自己点検評価報告書である『関西学院大学白書』、『関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 会計専門職専攻自己評価報告書』、WEB 上に掲載した教員の研究業績等がある。
小項目9.0.4	9.0.4 情報の保管 (現状説明) 評価の基礎となる情報が適宜、調査及び収集されており、適切な方法で経営戦略研究科事務室に、5年間、保管するものとされている。認証評価の必要性から、特に、試験等答案については、教員各自で、収密倉庫へ移管のため随時事務室へ保管依頼に持っていくことになっており、5年間、収密書庫にて保管している。

その他	(現状説明) 入試説明会を頻繁に開催することなどにより、2010年度は108名が入学し、瞬間的には、状況は著しく改善した。ただ、公認会計士試験合格者が増加した結果、合格者が就職できないという社会問題が発生したことから、今後、再度入学者が減少に転ずることが危惧される。
-----	---

《評価指標データ》

☆	
☆	
☆	

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
☆小項目9.0.3	
小項目9.0.4	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
☆小項目9.0.3	
小項目9.0.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
☆小項目9.0.3	
小項目9.0.4	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目9.0.1	
小項目9.0.2	
☆小項目9.0.3	
小項目9.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
--------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

#### ＜評価専門委員会の評価＞

- 管理運営に関する諸条件はクリアーできてはいるが、定員充足率をどれだけ安定的に確保していけるかがポイントとなります。
- 「自己点検及び評価の結果について、当該会計大学院を置く大学の職員以外の者による検証を行うよう努めていること」という点の検討が望まれます。
- 昨年度は、自己評価委員会の中に授業評価・FD委員会と分野別専門委員会を設けていると記述されていましたが、分野別認証評価が終了し、自己評価委員会とFD委員会に変更されたようです。自己点検・評価の項目では、本学の制度において学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価を毎年行っていることを説明されれば良いと思います。
- また、情報の保管の項目では、大学基準協会の大学が受ける機関別評価のための基礎データを評価情報分析室が収集し、ホームページで公表していることも記述されればどうでしょうか。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 公認会計士試験制度の改正をめぐる国会の混乱(改正法案廃案)や合格者の就職難等、会計プロフェッションを取り巻くマクロ、業界環境の激変により、定員充足率の安定的な確保は予断を許さない。
- 「自己点検及び評価の結果について、当該会計大学院を置く大学の職員以外の者による検証を行うよう努めていること」は、学内第三者評価に学外の有識者が含まれていることによって、充足されている。
- ☆ ○2010年度は「自己評価委員会の中に授業評価・FD委員会と分野別専門委員会を設けている」と記述していたが、分野別認証評価が終了し、自己評価委員会とFD委員会に変更した。自己点検・評価については、本学の制度において学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価を毎年行っている。
- また、情報の保管については、大学基準協会の大学が受ける機関別評価のための基礎データを評価情報分析室が収集し、ホームページで公表している。